

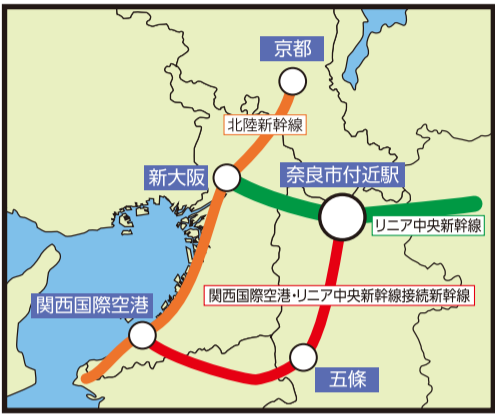
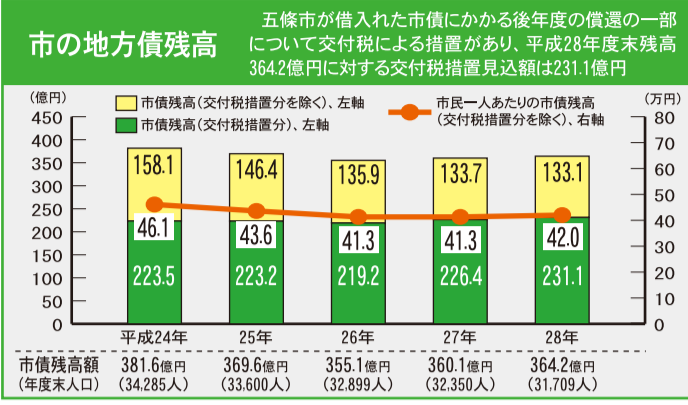
市の財政状況

厳しい状況の中 健全財政の堅持に全力

市の財政状況は、地方交付税の合併算定替えの縮減など、非常に厳しい状況にあります。行財政改革を積極的に推進し、持続可能な健全な財政運営を堅持しつつ、将来に向けた市の基盤整備に積極的に取り組む必要があります。

平成30年度は、こうした厳しい状況の中、国や県の補助金をはじめ、過疎債や合併特例債などの有利な地方債を活用し、「防災・減災対策」「定住化・少子化・地域活性化対策」「福祉医療・環境保全対策」「人材育成対策」の4つの政策課題に重点化を図り、新庁舎建設事業やごみ中継施設整備事業などに取り組んでまいりました。

なお、平成28年度末の市



奈良市付近に設置される予定のリニア中央新幹線の駅と関西国際空港を結ぶルート構想「**地図参照**」が奈良県知事により発表され、五條市内に中間駅が設けられる可能性が出てきました。これは、奈良市内から関西国際空港をわずか26分で結ぶもので、実現すれば、五條市の往来人口が増加し、

市に中間駅構想 往来人口増が予想

今後、国や県との連携を強化し、より有利な財源の確保に努めるなど、市の負担軽減に努めてまいります。

リニア新幹線

債(借金)の残高「**グラフ参照**」は、一般会計、特別会計、水道事業会計の全会計合計で約364億2200万円となっていますが、

市債のほとんどを過疎債や合併特例債など、償還について地方交付税による措置がある有利な制度を活用していることから、市の実質的な借金は、約133億1000万円となっています。

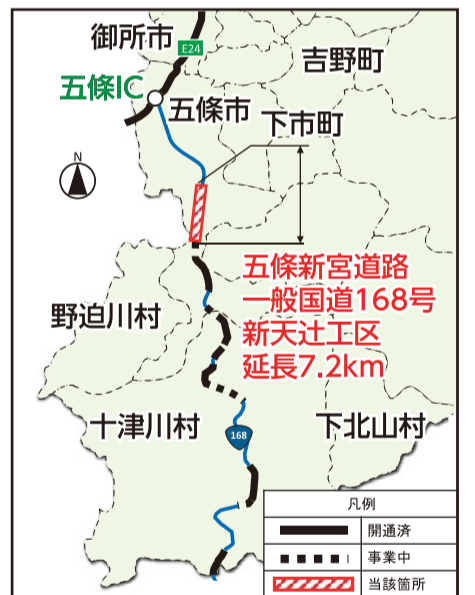
利便性が大きく向上すると予想されます。

今後、県や周辺自治体などの関係機関と連携を強化し、国等に対し、実現に向けた働きかけを行うとともに、このチャンスを活かした企業誘致や観光振興、さらに、定住、移住者の増加など、市の発展に寄与する施策を積極的に推進していきたいと考えています。

国道168号

大規模な法面崩落 国へ整備を要望

昨年五條市西吉野地区で発生した大規模な法面崩落により、約2カ月の通行止めとなった国道168号五



條新宮道路について、五條市は国へ整備に向けた陳情、要望を行ってまいりましたが、これを受けて国は本年度「新天辻工区」(延長7.2km)の国庫補助採択を決定しました。

新天辻工区は、五條市と和歌山県新宮市を結ぶ、地域高規格道路「五條新宮道路」の一部を構成しています。

市中央公園

今年度リニューアル 「親水広場」設置へ

市内外から多い時で1日700人以上の来園があり、人気を集めている五條市中央公園を、今年度リニューアル

法面崩壊等による通行止めを回避し、緊急輸送道路の機能を強化するとともに、第二次救急医療施設へのアクセス向上や観光振興に寄与する期待がかかっています。



「**親水広場**」を設けます。噴水がある一アルします。噴水がある親水広場を整備するほか、休憩ができるパーゴラやベンチの設置、管理棟の横に物販施設を設ける予定です。平成19年に整備した中央公園は、施設内で人気を集める「ふわふわドーム」があり、この横の広場を整備して直上噴水、アーチ噴水など、4種類の噴射ができる円形の噴水がある「親水広場」を設けます。

「桜花寮」に22人が入寮

今年度、全国から入学ができるようになった奈良県立五條高等学校賀名生分校に26人の新生が入学されました。このうち22人が新しく整備された同校の寄宿舎「桜花寮」に入寮しました。4月10日オープニング式典が催され、農業を志す寮生らと一緒に夕食をいただき、激励しました。

桜花寮は、県から譲渡を受けた旧五條病院看護師寮を整備したものです。新生入生らは4年間、自然豊かな五條市で農業について専門知識を得ていきます。今後、このまま農業従事者として五條市への定住や移住につなげていけるよう、地域の皆さんと共に進めていきたいと考えています。

文化博物館リニューアル

建築家の安藤忠雄氏が設計した五條市立文化博物館が4月28日、リニューアルオープンを迎えました。1年間の休館を経て、建築設備や空調設備の修理、半数以上を入れ替えた展示内容の見直しなど、平成7年の開館から23年ぶりに、より魅力ある施設へ生まれ変わりました。

リニューアル記念イベントでは、県指定無形民俗文化財の「篠原おどり」の公演や、学芸員による展示の説明会などが

行われ、ゴールデンウィーク中は、さまざまなイベントに市内外からの来館者でにぎわいました。

交流センターがオープン

五條市の観光情報発信や特産品を紹介する施設「五條市観光交流センター」が5月20日、野原西1丁目にオープンしました。今後は奥大和の観光拠点や、五新鉄道散策の拠点として、ソフト事業の充実を進めていきます。

オープニングセレモニーでは、約100人の出席者があり、地元のちびん保育園の園児たちが歌とダンスを披露し、華を添えてくれました。

アンゴラ共和国が訪問

2020年の東京オリンピック開催の事前キャンプ地として、アンゴラ共和国のハンドボール連盟が5月28日に五條市を訪問され、意見交換を行いました。キャンプ地として誘致を進めていきます。

アンゴラ共和国のハンドボール代表は強豪と有名で、世界大会に14回連続出場しています。この日は同連盟のペドロ会長と会食しながら意見を交換し、五條市としてキャンプ地の誘致に力を入れていくことなどを確認いたしました。

